

JAしまねびより


2018

7

July Vol.28

特集 JALまね 第4回通常総代会開催



Naomichi
弁天島(稲佐の浜) 

通常総代会特集



議長団（石原総代（左）、村上総代）



当日は最終集計で、総代定数1,000人（欠員8人）に対し、959人（本人出席547人、委任状8人、書面出席404人）の出席。議長団に、石原吉徳氏（雲南地区本部）、村上義成氏（隠岐地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「政府が示す農協改革集中推進期間の期限が31年5月に控えており、JA組織は重要な局面を迎えている。JAしまねは引き続き、事業改革や運営体制改革を含めて、自己改革を加速化し、将来に渡って農家組合員をはじめ地域住民の皆様から、信頼され、必要とされ、利用していただけるJAとなるよう、誠心誠意努力する」とあいさつ。来賓の溝口善兵衛島根県知事から、「JAしまねは、担い手との度重なる話し合いや、1JAの強みである資材の共同購入による価格の低減に努めるなど、農業生産の拡大と農業所得の増大に向けて、自己改革に積極的に取り組んでいる。県としても農業者の皆様が、今後も安定した営農を続けられるよう、JAしまねと連携していく」との言葉をいただきました。

また、組合員の代表としてJAの発展に貢献され、昨年ご退任された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。

本総代会にて付議した議案は次のとおりです。

- 第1号議案 平成29年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 平成30年度事業計画の設定について
- 第3号議案 運営体制改革の取り組みについて
- 第4号議案 定款の一部変更について（特別決議案）
- 第5号議案 監事監査規程の全部改正について
- 第6号議案 信用事業規程の一部変更について
- 第7号議案 株式会社JAアグリ島根への出資について
- 第8号議案 一般社団法人JAバンク相談所への加入について
- 第9号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」の設立への参画について
- 第10号議案 子会社の設立及び出資について
- 第11号議案 平成30年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
- 第12号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
- 第13号議案 平成30年度における理事の報酬額の決定について
- 第14号議案 平成30年度における監事の報酬額の決定について

平成29年度 事業報告

平成29年度は、安倍内閣の進めるアベノミクスにより、雇用・所得環境の緩やかな改善の動きは見えつつあるものの、国内総生産（GDP）の6割を占める個人消費は依然弱く、デフレ脱却は実現しないまま、景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では北朝鮮による核実験やミサイル発射、シリア内戦にかかわる各国の動向、米国トランプ政権の対外政策による混乱など、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、米国トランプ政権が離脱を表明したことから、アメリカを除く11カ国で協定を発効させることで大筋合意し、本年3月にTPP11協定が署名されました。また、EPA（日EU経済連携協定）については、農畜産物では約82%の品目で関税を撤廃することを合意内容として、平成29年12月に交渉が妥結しました。今後、米国の二国間交渉の動向も注視し、引き続き日本の「食」と「農」の重要性をアピールする運動を展開していく必要があります。

組織情勢では、農林水産省が平成28年度から平成29年度にかけて総合JAと認定農業者に対してアンケートを行いました。総合JAに対しては自己改革の取り組み状況について、認定農業者等に対してはJAの自己改革の取り組みをどのように評価しているのかについて調査した結果、自己改革の取り組みに対する認識について、JAと認定農業者の間で乖離があることが浮き彫りとなりました。今後は、引き続き自己改革の取り組みを着実に実践することはもちろん、広報活動

にも重点を置き、自己改革の取り組みを広くPRすることで組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成29年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」2年目として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,129百万円、購買品供給高が34,014百万円、貯金残高が984,693百万円、貸出金残高が299,671百万円、長期共済保有高が3,541,460百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は14.93%となりました。

収支面については、事業利益が1,016百万円、経常利益は2,189百万円となり、当期剰余金は609百万円となりました。

主な事業活動と成果の詳細については次ページののとおりです。

■貯金残高	984,693百万円
■貸出金残高	299,671百万円
■長期共済保有高	3,541,460百万円
自己資本比率	14.93%
■事業利益	1,016百万円
■経常利益	2,189百万円
■当期剰余金	609百万円

PickUP

第3号議案 「運営体制改革の取り組みについて」

目的
業務内容が高度化・専門化している事業環境下、JAの基本方針の審議決定と組合員の意思反映機能を担う非常勤理事と、事業の企画立案と迅速な業務執行機能を担う常勤理事、それぞれの責務の明確化と一層の役割発揮に向け、理事会の運営方法を含めた運営体制の改革に取り組み。

主な内容

- ① 現行33名の常勤理事体制を、「半減」を目安に見直します。
- ② 現行32名の非常勤理事体制を、必要最小限に見直します。
- ③ 地区本部運営委員会の役割・位置づけを再検討し、構成員や運営方法などを統一的に再構築します。
- ④ 監事定数を必要最小限に見直します。
- ⑤ 運営体制については、これまでの検討経過を踏まえ、今回の改革以降も継続的に検証・検討を行い、将来的な経営管理委員会制の導入に向けて、今回の改革以降も継続して協議を行います。

本議案の今後のスケジュール

時期	実施事項等	実施内容等
平成30年		
6月	○第4回通常総代会	○運営体制改革への取り組み承認
7月		具体的内容の策定・調整等 ・総代等との会議・意見集約 ・役員による改革案の検討・策定
8月		
9月		
10月(中～下旬)	○地区別総代説明会	○改革案の説明等
11月上旬	○臨時総代会	○運営体制改革の内容決議 (※定款変更を含む)
平成31年		
6月	○第5回通常総代会	○役員改選 ○新体制スタート

組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人	64,865	2,677	2,473	65,069
	法人				
	農事組合法人	196	14	1	209
	その他法人	203	17	3	217
計		65,264	2,708	2,477	65,495
准組合員	個人	165,484	3,578	4,780	164,282
	農業協同組合	0	0	0	0
	農事組合法人	24	0	3	21
	その他の団体	1,889	17	38	1,868
	計	167,397	3,595	4,821	166,171
合計		232,661	6,303	7,298	231,666

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当期首	当期増加	当期減少	当期末
正組合員	個人	16,875,056	463,101	619,158	16,718,999
	法人				
	農事組合法人	25,728	339	532	25,535
	その他法人	33,335	1,378	515	34,198
計		16,934,119	464,818	620,205	16,778,732
准組合員	個人	5,638,717	349,921	301,273	5,687,365
	農業協同組合	0	0	0	0
	農事組合法人	1,716	11	214	1,513
	その他の団体	95,199	893	1,498	94,594
	計	5,735,632	350,825	302,985	5,783,472
処分未済持分		128,177	119,775	128,177	119,775
合計		22,797,928	935,418	1,051,367	22,681,979

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,681,979,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区分	項目	平成28年度	平成29年度
財務	事業利益	1,050	1,016
	経常利益	2,014	2,189
	当期剰余金	1,295	609
	総資産	1,104,465	1,092,634
	純資産	77,982	77,986
信用事業	貯金	994,007	984,693
	預金	498,551	499,645
	貸出金	308,072	299,671
	有価証券	171,289	167,390
	国債	82,394	80,375
	その他	88,894	87,015
共済事業	長期共済保有高	3,659,406	3,541,460
	短期共済新契約掛金	10,267	10,184
購買事業	購買品供給高	34,092	34,014
販売事業	販売品販売・取扱高	38,259	38,129

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第4事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,026,372,121
2. 剰余金処分額	1,346,744,329
(1)利益準備金	122,000,000
(2)任意積立金	1,000,000,000
農業振興積立金	100,000,000
農業災害積立金	100,000,000
教育研修充実積立金	100,000,000
信用事業システム開発積立金	200,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	150,000,000
施設等更新積立金	150,000,000
(3)出資配当金	224,744,329
3. 次期繰越剰余金	679,627,792

(注1) 出資配当金は年1.0%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額30,488千円と、地区本部業績還元のために繰越額200,000千円が含まれています。

平成29年度 主な事業活動と成果

販売事業

米穀は平成29年産の島根県における水稲の作況指数が102（前年104）となり、主食用予想収量は89,300トンで前年比2,000トンの減となりました。また、28年産米から導入した米の買取制度を29年産米も継続実施し、集荷数量は平成30年3月末現在で36,594トンとなり、出荷契約に対する集荷進度は92.4%、前年対比では97.9%となりました。

園芸

取引先をはじめ関係機関が一体となって取り組んだ結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。また、平成28年度に整備した西条柿の冷蔵施設を拠点に、地区本部の枠を超えてあんぽ柿原料



を受け入れ、JAしまねの統一規格である「島根あんぽ」を中心に生産・販売拡大を行い生産者所得の向上に努めました。

畜産

和牛繁殖雌牛の増頭支援対策や繁殖農家の経営支援を目的とした県央地区畜産総合センター施設の整備による新たな預かり事業の開始、行政の支



援により隠岐地区の家畜市場整備を進めました。また、肉牛の消費宣伝対策として新たなしまね和牛宣伝用ポスターの作成と枝肉の脂肪酸組成・食味分析を実施し、酪農家の経営支援を目的に酪農ヘルパー事業を開始しました。

資材

肥料・農薬・飼料について、水稲肥料・農薬の銘柄統一や値下げを進め、低価

格での資材供給を行い、「農業者の所得増大」の実現に向けた取り組みに努めました。

信用

農業所得増大応援キャンペーンなどにより、農業者の設備投資等を支援するとともに、子育て応援宣言によるローン金利優遇サービスや島根の農畜産物をPRする貯金キャンペーンを実施し、地域のくらしと農業を支援しました。



共済

共済事務センターの設置により事務処理の効率化、迅速化を図り、利用者満足度の維持・向上に努めるとともに、子育てフェスや子ども倶楽部等を通じた次世代対策を展開し、地域への「安心」「満足」の提供と信頼の獲得に取り組みました。

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指し、女性部や青年組織と連携した食と農を基軸とした活動、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育などを通じた「生きがい、ふれあいの場づくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。



平成30年度 事業方針

農業振興

方針

平成30年度は「農業戦略実践3カ年 営農計画」の最終年度となる節目の年であり、組合員とともに「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現につながる目標の達成に向けて取り組みます。

農政改革により平成30年産米から主食用米の生産調整は、農業再生協議会を中心とした体制で生産数量の目安提示を行うこととなり、JAとして複数年契約等の事前販売契約に基づいた主食用米の品種誘導や1・9mmふるい目への全面切り替え、粒厚肥大技術の普及により、島根米の品質向上・評価向上に努め、販売力の強化による生産者所得の向上を実現します。

生産調整による主食用米以外での水田利活用品目の普及が重要であることから、飼料用米の県内需給調整による安定取引の実現や園芸重点推進5品目への転換、集落放牧による和牛繁殖の拡大により農地の利活用促進をすすめます。

また、地域農業の担い手である認定農業者、集落営農、農業法人の運営、経営安定に向けた記帳代行やデータ提供による利便性向上と経営診断により経営の安定化対策や業務受託対策をすすめ、担い手とJAが一体となって地域農業の振興をすすめます。

重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ②平成30年産米以降の需要に応じた生産に向けた対応
- ③営農指導体制整備
- ④担い手支援
- ⑤農業経営管理支援
- ⑥労災保険加入支援
- ⑦JAしまね農業振興支援事業

全般

くらしの活動

くらしの活動では、「豊かでくらしやすい地域社会の実現」を目指して、女性部、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員アンケートの調査結果等を踏まえ、組合員の多様なニーズを把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動への参加機会の提供とともに、活動の質と参加者満足度の向上に努めます。

販売事業

しまねブランド商品として市場や卸に頼らない県産農畜産物の販売の強化

に取り組むとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃費事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実に努めます。

信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

低経済成長やマイナナス金利継続に伴いJAを含む地域金融機関の運用環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら、農業所得増大と地域活性化

に積極的に取り組みます。

また、JAとして営農経済事業に全力投球できるよう、信用事業運営の効率化をすすめるとともに、地域に貢献する金融サービスを積極的に展開します。

- 「JAバンク自己改革」3本の柱」
- ①農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
 - ②信用事業運営の効率化
 - ③農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

共済事業

地域実態・ニーズをふまえたJA事業とJAくらしの活動の展開を図るため、共済事業では、組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組み、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また、共済事務センターの機能発揮による事務の更なる統一化及び効率化を進めるとともに、支店担当者のスキルアップにより組合員・利用者サービスの向上に取り組みます。さらに自動車損害調査体制の再構築により組合員・利用者の満足度向上を図ります。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

組合員の代表としてJAの発展に貢献された総代の皆様方のなかから、長きにわたりご尽力いただいた方々に、感謝と功績を讃え功労者表彰を行いました。

当日は各地区本部の代表者へ表彰を行いました。そのほかの、地区本部管内で受賞された皆様については、別ページをご覧ください。



各地区本部を代表して表彰を受けられた方々
(左から竹田重一氏、安部敏樹氏、岡田一夫氏、朝日照男氏、佐々木菊雄氏、向山剛之氏、杉原定氏、石橋敏一氏、日高勝明氏、藤若早男氏、永井安行氏)



功労者を代表して
あいさつする竹田重一氏

- 功労者表彰代表者名簿**
- (地区本部名) (表彰者名)
- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---------|
| 西 | い | 島 | 石 | 斐 | 出 | 隠 | 隠 | 雲 | や | く | (地区本部名) |
| い | わ | 根 | 見 | | | 岐 | | | す | に | |
| わ | み | お | お | 銀 | 川 | ど | | 南 | ぎ | び | |
| み | 中 | お | 山 | 川 | 雲 | う | 岐 | ぎ | き | き | |
| | 央 | ち | 山 | 川 | 雲 | ん | 南 | | | | (表彰者名) |
| 永 | 藤 | 日 | 石 | 杉 | 竹 | 向 | 佐 | 朝 | 岡 | 安 | |
| 井 | 若 | 高 | 橋 | 原 | 田 | 山 | 々 | 日 | 田 | 部 | |
| 安 | 早 | 勝 | 敏 | 重 | 剛 | 菊 | 照 | 一 | 敏 | 樹 | |
| 行 | 男 | 明 | 一 | 定 | 一 | 之 | 雄 | 男 | 夫 | 樹 | |

第4回総代会 Q&A

質 問

担い手対策として、農業の魅力を発信したり、Uターン・Iターンを促進するなどのPR活動を、JAが率先して行う考えはないか。

回 答

新規就農に対しては、行政等と連携してPRを含めた取り組みを行い、毎年150人程度の就農に繋がっています。また、新規就農者が定着するよう、TACの巡回による経営支援などのサポートを行っています。

質 問

販売戦略室はどのような業務を担っているのか、各地区本部の実態を把握しているのか伺いたい。また「1円でも高く」販売するための具体的な戦略を伺いたい。

回 答

地区本部における営業のサポートを目的として、また、米穀・畜産・園芸の部門を跨いだ総合的な営業力の強化を目的として設置した部署となります。なお、立ち上がりと同時に、各地区本部で行われている販売方法などを調査・整理しています。

質 問

役員定数が削減となった際には、役員報酬や人件費などの費用面にどのような影響があるか伺いたい。

回 答

相応の影響が想定されますが、最終的な定数が決まっていない中ですので具体的な試算はお示しできない状況です。

質 問

●経営管理委員会とはどのようなものなのか、また導入のメリットを伺いたい。

運営体制の改革を進めることによって、本店へ権限が集約し、その結果地区本部の自主性や独自性が阻害されることを危惧する。

●運営体制を改革するのであれば、総代の体制や総代会の在り方についても併せて検討してはどうか。

回 答

県1JAのうち4JAが経営管理委員会を設置している現状のなか、その仕組みがどういったものなのかを今後研究していくものだとご理解ください。現状の理事会制をベースに、当JAの地区本部制を踏まえて、JAしまねとしての運営の在り方を検討していきます。

この他にも幅広くご意見をいただきました。

／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

「農業者の所得増大」・ 「農業生産の拡大」への取組

● 農業振興支援事業

規模拡大や生産基盤の強化をはかる担い手への支援、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策、園芸重点推進5品目の産地化、しまね和牛の増頭、島根米のレベルアップと差別化強化として1.9mmふるい目更新といった県域での戦略的な展開、地区本部の取り組みなどの農業生産の維持・拡大対策など、農家所得向上に向けた取り組みを展開しています。また、自然災害復興対策も実施しています。

支援事業を活用された組合員の皆様からは、「行政からの支援が受けられず困っていたが、支援事業により規模拡大が進められた」、「玄米の選別ふるい目を1.9mmふるい目に変えたことで玄米品質が良くなり1等米比率が拡大した」、「繁殖用雌牛価格が高騰しているが、JAからの支援で増頭が進められている」、「災害を受けたパイプハウスの再建ができ、営農活動が続けられる」といった声をいただいています。

● 重点5品目の推進

園芸重点推進5品目についても、島根ブランドの定着化、所得向上に向け販売力を強化するための取り組みを行い、栽培拡大に繋がっています。

作物名	取組内容
キャベツ	加工業務用向け栽培推進、水田の排水対策試験
たまねぎ	集落営農法人への作付推進、オール機械化体系に向け試験実証
ミニトマト	アンジェレの作型拡大試験実証
白ねぎ	点滴灌水システム・新品種・マルチ栽培といった新技術実証
アスパラガス	1年生栽培・高畝疎植栽培といった新技術実証、リース団地の実施

今後も、農業者の所得増大、農業生産の拡大に向け取り組みを強化していきます。



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

隠岐郡隠岐の島町 田中 修司さん



田中修司さん（30歳）は、隠岐郡隠岐の島町都万で、繁殖牛30頭を母親と2人で飼育しています。

幼少期から実家で牛を飼育しており、その影響を受け、畜産業に携わるため島根県立農林大学校へ進学しました。その後、出雲市佐田町の(有)ちくさん緑化、隠岐の島町の(株)だんだん牧場で畜産の仕事をしていましたが、実家の畜産業の経営規模の拡大のため、跡を継ぐ目的で平成28年に新規で就農しました。

平成28年にJAしまね農業振興支援事業「魅力ある産地づくり支援事業：しまね和牛増頭支援メニュー」を活用して繁殖牛4頭を導入。平成29年にも同メニューで繁殖用牛舎等の建設を行うなど、年々経営規模の拡大を図っています。

今後、経営規模をさらに拡大するために、施設の拡充だけでなく大型機械の導入も進め、経営基盤の安定を図り、少なくとも繁殖牛50～60頭規模にすることが目標です。

隠岐の島町は、牛突きなど伝統文化でも牛との関わりが多い土地柄です。そんな昔ながらの自然・文化の残る隠岐の島を、畜産業を通して守っていきたいと思っています。



理事会情報（5月30日開催）

協議事項

- ① 株式会社JAアグリ島根株式譲受に伴う販売事業強化に向けた検討について
- ② 農産物検査業務規程の一部改正について
- ③ 平成28年産島根米「買取制度」総括について
- ④ 平成29年産島根米「買取制度」中間総括について
- ⑤ 葬祭会館利用料の新設および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
- ⑥ 監事監査規程の全部改正について
- ⑦ 組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑧ 島根県常例検査書の回答について
- ⑨ 株式会社JAアグリ島根への出資について
- ⑩ 平成29年度決算の承認について
- ⑪ 第4回通常総代会への附議議案について
- ⑫ 財務調整に関する取り扱いについて
- ⑬ 平成30年度に実施する業績還元を取り扱いについて
- ⑭ 購買システム整備の方針整理にかかるコンサル導入の検討結果について
- ⑮ 通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑯ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑰ 職員就業規則および関連規程の一部改正について
- ⑱ 運営体制改革にかかる改革案（中間とりまとめ）の主要項目と総代会附議議案について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

雲南

奥出雲町肉用子牛共進会が開催

6月7日に仁多郡奥出雲町の仁多中央家畜集合所で平成30年度第1回奥出雲町肉用子牛共進会が開催され、八川支部の福田一三さん出品牛「あき」が特選賞首席に輝きました。

首席の「あき」は、体上や体高の良さと全体的な締りの良さが評価の決め手となり、2席には横田支部の藤原トミ子さん出品牛「みつはな4」、3席には三沢支部の内田勇さん出品牛「しらゆり」が選ばれました。

首席に輝いた福田さんは「食事や運動を気にかけてが、一番は親の良いところを受け継いだこと。いい結果が残せてよかった」と話し、勝田康則町長は「宮城全共では県代表26頭の内、奥出雲町から11頭が出品された。この経験は次回の鹿児島全共につながるはず。町としても最大限の支援をしていきたい」と同町のさらなる和牛振興への期待を述べました。



特選賞に輝いた「あき」と福田さん（右）、勝田町長

くにびき

家庭婦人バレーボール大会で熱戦！ 津田クラブが2年ぶり5度目の栄冠に輝く

くにびき地区本部は6月3日、松江市総合体育館で「第12回JAしまねくにびきふるさとふれあいカップ家庭婦人バレーボール大会」を開きました。松江家庭婦人バレーボール連盟に所属する14チームが参戦し、津田クラブが優勝に輝きました。

大会は、スポーツを通じた社会貢献活動や管内チームの交流を目的として、毎年開催しています。

開会式では、田中鈴木副本部長が「練習の成果を発揮し、はつらつとしたプレーをしてください」と挨拶。雑賀クラブの川上直美さんが選手宣誓し、試合開始となりました。

試合は、予選から白熱した戦いが展開され、各チームは一進一退の攻防を繰り広げました。決勝では、昨年準優勝の津田クラブと、6年ぶりの優勝を狙う朝日クラブが激突。序盤から津田クラブが、21-14、21-9と圧倒し、2年ぶり5度目の栄冠を手に入れました。



優勝した津田クラブのメンバー

隠岐

隠岐地区本部総代・ 運営委員合同視察研修会の実施

隠岐地区本部は、6月24日に開催された第4回通常総代会に総代・運営委員合同で出席した翌日、引き続いて視察研修会を実施しました。

研修会では、株式会社JAアグリ島根や斐川地区本部のグリーンセンターなどを訪問しました。

株式会社JAアグリ島根では、同社の概要、米・花き・青果物・食肉などの販売実績の説明後、実際に花き市場などを見学しました。また、斐川地区本部管内のグリーンセンターでは、平成7年にオープンした産直市場を見学し、地元で生産された野菜・果物・花き・加工品などの多くの農産品が並べられている、活気のある販売現場を視察することが出来ました。



やすぎ

いもイモ大作戦 始動！

やすぎ地区本部は安来市穂日島町の中海干拓地で毎年行っている、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」を今年も開催しました。食農教育と地産地消の推進を図ることを目的に平成11年から毎年行われ、リピーターの方も多いイベントです。

6月3日には市内外から40家族、約130人が参加され、JAの営農指導員の指導のもと、一区画10本の「紅はるか」の苗を定植しました。また、サツマイモについてより知ってもらおうと、栽培管理のほか品種の特徴や苗の説明など詳しく掲載したさつまいも栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

参加された親子からは「去年より子供が植えるのが上手になっていました」「暑くて大変だったけど、楽しかったです」との声が聞かれ、今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、10月に収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



苗に優しく土をかける子供

斐川

TACが行う食農実践教室

6月7日、斐川地区本部の担い手担当職員（通称：TAC）2名が、食農教育の一環として町内の出西保育園とあい川保育園を訪問し、49名の園児たちと枝豆「ゆかた娘」の種まきを行いました。はじめにTACが枝豆についての説明をした後、等間隔に印のついたロープを目印に指で穴をほり、一粒ずつ丁寧に種をまき、土をかけた後にたっぷり水をかけてあげました。園児たちは「穴の深さはこれくらいいいの?」「いつになったら食べられるの?」と質問しながら興味津々で作業に取り組んでいました。今後は園児たちが管理を行う予定で、毎日の水やりから土よせや草取りなどの作業を、当番を決めて行います。8月には収穫した枝豆を園で調理し、おやつとして味わうのを園児たちは楽しみにしています。



出西保育園の園児たち



あい川保育園の園児たち

隠岐 どうぜん

畜産共進会が開催

6月12日（火）隠岐島農業協同組合協議会が主催する「平成30年隠岐郡畜産共進会」が、知夫村仁夫里浜特設会場にて開催されました。

数日前より地元畜産農家の協力による会場準備を経て当日を迎えました。隠岐島各地区より1区（子牛の部）10頭・2区（若雌の部）15頭の計25頭が出品されました。審査の結果グランドチャンピオン牛には2区（若雌の部）首席のしげしげ号（高井芳江さん出品）が選ばれ、10月20日開催の島根県種畜共進会に出品されることになります。

また長年にわたり畜産振興に尽力された、知夫村の金築輝雄さん、山本進さんに畜産功労賞、小西梅子さんに全国和牛登録協会登録事業功労者賞（島根県で2名）が授与されました。昼食には地元畜産婦人部の方が豚汁をふるまい、審査競技には沢山の人が積極的に参加するなど活気あふれる畜産共進会となりました。



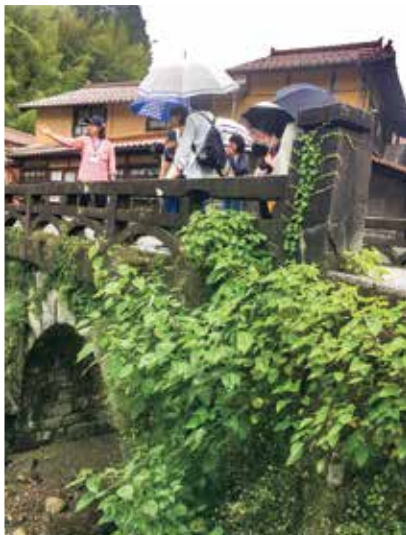
石見銀山

女子大学で石見銀山見学

JALしまね石見銀山地区本部が運営する女性大学（JA女子大学石見銀山キャンパス）の8期生は、6月6日に大田市大森町の町並みを散策、石見銀山について学びました。

JALしまね石見銀山女性部員でもある稗田奈穂美さんをガイドに、大森町の町並みを歩きました。大森町は、江戸時代の武家屋敷や代官所跡、石見銀山で栄えた豪商・熊谷家住宅など、随所に並ぶ歴史的な建造物や文化財が当時の面影を残しており、どこか懐かしい雰囲気になっています。

中国地方は5日より梅雨入りし、当日もあいにくの雨模様でしたが、受講生はガイドの話に熱心に耳を傾けながら、石見銀山の歴史について学びました。



ガイドから説明を受ける受講生

出雲

JAしまね子会社起工式 大型水耕栽培施設を建設

JALいずもアグリ開発(株)は6月20日、出雲市神西沖町で大型水耕栽培施設の起工式を行いました。光、温度、湿度、二酸化炭素、培養液などを調節できる高度環境制御栽培施設を建設し、天候の影響が少ない環境で、リーフレタスを周年栽培します。

総事業費は約7億400万円で、国の産地パワーアップ事業から1/2の助成を受けました。年間販売高は1億4,000万円を計画しています。JALしまね出雲地区本部の石川寿樹本部長は「子会社であるアグリ開発を主体とした大事業。自己改革の柱である農業生産拡大のためには、新しい農業にも取り組む必要がある」と話しました。

起工式には県、市、全農、施工業者、JA役職員ら約30人が出席。同地区本部の副本部長も務めるアグリ開発の吉田博幸代表取締役は「出雲の将来のために、誰かが先駆けてやらなければならない事業。次世代を担う若手や地元企業などに波及させたい」とあいさつしました。



あいさつをする吉田代表取締役

西いわみ

第56回島根米品評会農林水産大臣賞受賞 農事組合法人豊郷

第57回農林水産祭参加の島根県農業振興協会主催第56回島根米品評会で、益田市横田町の農事組合法人「豊郷（とよさと）」（代表理事組合長北條義洋）が出品したうるち玄米品種「きぬむすめ」が、島根米総合の部において農林水産大臣賞を受賞しました。

「きぬむすめ」は、平成29年5月に、約38ヘクタールの管理水田のうち50アールを乾田直播により播種し、10月上旬に収穫したもので、出荷先の米検査場で粒張りや色つやが極めて優れている事に注目したJA検査員が出品を勧めました。

同法人北條代表によると、乾田直播は平成28年の先進地視察がきっかけで、手がけていた大豆栽培の作業や機械が乾田直播に応用できると考えたということです。

平成30年6月8日に島根県庁で伝達式があり、北條代表に表彰状が贈られました。

北條代表は「今回の受賞を励みにして研究を重ね、面積を拡大して得られたデータを今後の取り組みに活かしていきたい」と抱負を述べました。



島根おおち

(株)スパーク山陰フェアー [2018初夏]

広島県の地域密着型スーパー(株)スパークにおいて、島根県の青果物と特産品を揃えた山陰フェアーが開催されました。当フェアーは6月7日(木)～6月10日(日)の4日間、(株)スパーク15店舗で開催され、島根おおち地区本部からも職員が店頭立ち、地元産サニーレタス等の野菜を並べ、PRや販売を行い店頭は賑わいました。

島根おおち地区本部と(株)スパークは、島根おおち野菜ブランド「愛菜の郷」の出荷をはじめ、毎年11月から12月には管内の加工場で製造している杵つき餅の職員による実演販売、また出荷している農畜産物への理解と関心を高めたいと管内地産地の視察を実施するなど、30年以上の交流を続けています。

島根おおち地区本部では、県内外の多くの方に管内の農畜産物を知り、食べていただけるよう、積極的な宣伝活動を行ってまいります。



本店

関西地区でトップセールス！

6月9日に、出荷最盛期を迎えた「デラウェア」や「アムスメロン」などを売り込むトップセールスを、取引量が多い関西地区にて島根県と協力して行いました。当日は竹下組合長が藤原孝行副知事と、大阪市中央卸売市場の大阪中央青果を訪れ、デラウェアのキロ単価1,300円の達成に向け、売り場確保など販売促進を関係者に要請しています。

また、神戸市のショッピングセンターへ特設コーナーを設置し、県産のキャベツやトマト、シイタケなどとともに、島根の果実や野菜の鮮度、味の良さを買客にPRしました。特設コーナーでは、出雲農林高校の生徒さん達にもお手伝いいただき試食品を振る舞ったほか、農産加工品が当たる抽選会も行い、会場は大変賑わいました。



(島根県提供)

いわみ中央

収穫を楽しみに！ さつま芋苗植え体験

JAしまねいわみ中央地区本部は、6月17日に浜田市上府町であぐりkids倶楽部の農業体験を行い親子16人が参加しました。

今回は、さつま芋の苗（品種：紅あずま）200本を植えました。あぐりkids倶楽部は、1歳から小学校6年生までの子供を対象に、親子で農業体験をとおして「農」を知ってもらうことを目的に立ちあげ、7年が経過した現在は67家族が加入しています。

この日も、JAの職員から植え方の話を聞き、畑には畝がたてられマルチを張ったところに、穴をあけて1本1本親子で楽しみながら植えていきました。最後に水やりをして終了です。参加者は「秋には大きな芋ができるといいなあ!収穫が楽しみ」と体験の感想を話していました。植えた芋は10月に収穫予定です。



タテのカギ



- ①水着の痕がついたり皮がめくれたり
- ③学校の教室に並べます
- ⑥酒などを量る四角い容器
- ⑦ミノ、ハツ、センマイといえば
- ⑧全生徒中の男子生徒の——を計算で求めた
- ⑩お盆休みに帰る人もいます
- ⑭プールで習うことの一つ
- ⑯ビーチ——を広げて日陰をつくった
- ⑰一般的に縄より太め
- ⑱バットを持って1人でもできる練習
- ⑳釣りに使う透明な糸

ヨコのカギ



- ①夏らしい黄色い花
- ②爪を削って整えるときに使います
- ③アサガオやヘチマが伸ばす物
- ④天気予報では雲のマークで表されることが多い天候
- ⑤コンパスだときれいに描けませす
- ⑦サッカーの主審が吹きます
- ⑨舌で感じます
- ⑪ウミウシも実はこの仲間
- ⑫プラスの反対
- ⑬U A Eとも呼ばれる——首長国連邦
- ⑮卵を英語でいうと
- ⑯定期券を入れた——ケース
- ⑰あの2人はどうも——が合わないようだなあ

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	8			16	19
2				13		
		9	10		17	
	7			14		
3			11			20
4				15	18	
5			12			

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒699-1395 雲南市木次町里方1088-6
JAしまね 雲南地区本部 ふれあい課「クイズ」係
平成30年8月5日（日）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「サヤインゲン」

サ	ヤ	ア	ジ	サ	イ
カ	ラ	オ	ケ	ハ	ン
ズ		イ	チ	イ	ン
キ	ノ	コ	セ	デ	ジ
	ミ	ミ	セ	ン	ド
ゲ	コ	イ	シ	カ	ワ
カ	ミ	ナ	リ	ヤ	ク

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

夏に向けてのからだ準備

今年も猛暑が予想され、体調管理に不安をお持ちではありませんか？今年こそスムーズに乗り越える為、早くから準備したいものです。

夏の暑さに負けない元気なからだを作るには、「バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」が大事とよく耳にします。簡単なポイントをあげますので、参考にしてみてください。

夏は、冷房にあたりたり、冷たい物の摂り過ぎで、案外からだ冷えてしまっている事が多いです。からだの冷えは、自律神経の乱れや、免疫力の低下に繋がるので、夏であっても温める事が大切です。食事のはじめに野菜たっぷりのスープや味噌汁をからだに入れたり、温かいお茶を飲んだりするだけでもずいぶん違います。食事も大切で、食べて消化する行為はエネルギーを作り出し、からだを温めます。特に体温の低い人は朝食を抜かないこと！3食の中で朝食は最も大きな熱を生み出します。体温を上げ代謝を良くする事で疲れにくく、胃腸の冷えが原因かもしれません。「温かい物」を摂るように心がけ、胃腸に負担をかけないようにしましょう。

食事の次は運動ですが、今まで運動習慣がないと「外は暑いし運動で汗を流すのは嫌だ」と躊躇する人も多いと思います。激しい運動ではなく、朝起きがけのウォーキングアップを行うことで、気持ち良く1日をスタートさせて、疲れにくくからだにやる効果があります。

目覚めに寝たまの状態で、1.両手を胸の前まで上げ、グーとパーを繰り返す要領で手の平を開いたり閉じたりする。2.次に頭の上まで両手をあげ、両手足をゆっくり伸ばす。最初は軽く、徐々に手足に力をいれる。3.両手を両脇にもどします。踵を突き出す動きと、つま先を伸ばす動きを交互に数回繰り返す。4.膝を両手で胸の前で抱えるように引き寄せゴロゴロとする。このようにしてゆっくりエンジンをかけ、からだを温めながら目覚めさせてはいかがでしょうか。少しづつ取り入れてからだを動かすきっかけになればと思います。

そして睡眠。この季節にかかわらず、なかなか寝付けないといった方は多いと思います。入浴や温かい飲み物でからだを温めたり、アロマを焚いたり、照明を好みに変えたり、本や音楽で心を落ち着かせたりと、安眠方法については三者三様ですが、共通する点はリラクゼーションできる状況を作ることです。また、日中に明るい光をたくさん浴びることをお勧めします。明るい光は、睡眠を促進するホルモン（メラトニン）が作られ、より良い睡眠に近づくことができます。明るい光なら自然光だけでなく、どんなものでも影響があり、室内の照明も含まれます。

何かヒントになりましたでしょうか？さあ、暑い夏に向

総代説明会



雲南地区本部は6月10日、平成30年度第1回J Aしまね雲南地区本部総代説明会を開き、管内各地区の総代117人が出席。平成29年度事業・決算報告、平成30年度事業計画、第4回通常総代会議案について説明しました。

平成28年度から「第1次中期経営計画」「農業戦略実践3カ年営農計画」に取り組み、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化を目指した活動を進めています。

平成30年度は、米を中心とした農業経営の安定や園芸および畜産振興により経営の多角化への支援、また米や農畜産物加工品など付加価値をつけて有利販売に努めます。くらしの活動では豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けて、組合員・利用者の負託に応える活動により地域活性化に取り組みます。

雲南地区本部

功労者表彰名簿

「第4回通常総代会」において、昨年ご退任された総代の中より、通算3期（9年以上）の長きに渡り、その任を担っていただいた皆様の功績を讃え、功労者表彰を行いました。

●平成29年9月退任の皆様

（敬称略）

内田 正男	奥出雲町	周藤 昭善	木次町
渡部 正弘	奥出雲町	松村 勤	木次町
小田川勝美	奥出雲町	野村 良夫	三刀屋町
藤原 治	奥出雲町	石飛 晴夫	三刀屋町
森山 公	奥出雲町	石飛 文男	三刀屋町
安部 賢治	奥出雲町	原 俊二	飯南町
城代 寛行	奥出雲町	中田 清隆	飯南町
部田 芳男	奥出雲町		
千原 政男	奥出雲町		
内田 敏夫	大東町		
新田 皖修	大東町		
原 勲	大東町		
内田 光具	大東町		
朝日 照男	大東町		
錦織 義泰	大東町		
稲田 辰雄	加茂町		



地区本部を代表して表彰を受ける朝日総代

「意見・要望」と「その回答」

総代数および出席総代数
 ● 総代数 / 159名 ● 出席総代数 / 117名

Q J A しまね全体の減損損失は2億3千万円となっているが、大半が雲南地区本部となっており説明して欲しい。主なものとして須所の土地が挙げられているが、詳細が知りたい。

A 平成28年度は7ヶ所、1億6千2百万円の減損処理を行いました。そのうち支店が2ヶ所、グリーンセンターが2ヶ所あり、そこで収益を上げられなかったことが理由の一つです。また、地区本部の合併以来、農業振興に力を入れており、農業関連施設がたくさん点在しています。その施設については使用料をいただいておりますが、単体としての収益構造に少し難があるという事です。

果樹センター(須所の土地)は、減損損失額が1億6千7百万ほどあり、現在は委託し賃貸料を受け取っています。

平成31年度には公認会計士監査が導入され、減損処理についてより厳しくなると予想したため経常利益内で処理を行いました。また平成30年度の特別損益3千4百万円については、施設の解体費用などを見込んでおり、減損損失は計画していません。

Q 減損損失に挙げられている小馬木店舗について今後の考えを聞きたい。

A 地元の方からの要望もあり10月頃までは作業のためにお貸ししています。自治会の方からもコミュニティ事業での相談があり前向きに検討しています。

Q 今後、支店の統合は検討しているのか。

A 地区本部は平成18年に34ヶ所の支店を10ヶ所に統合しました。現在は9支店となっており、統廃合は既に終わったという認識でいます。また、ATM

については採算性と地域のインフラという観点もあるため、存置基準や採算性を慎重に検討して、その結果を皆さんにご相談しなければならぬ機会もあるかと思うためよろしくお願ひします。

マイナス金利の影響などで、信用事業の収支が減ってきています。対応策としては、事務の効率化による営業力の強化や預かり資産ビジネスの本格的な参入、店舗ATM戦略が挙げられます。

Q 農業機械の更新について、JAに見積もりを依頼したが対応が遅く、査定金額も非常に厳しいものだった。下取り価格が高く、購入する商品の値段は安い民間業者にやむなくお願いしたところもあり、もう少し農家目線の対応を要望する。

A 対応が遅くなった点は、私どもの指導が行き届いていなかったということですので、今後このようなことがないように迅速な対応をさせていただきますと思います。

中古農機の場合は、下取り後販売しなければならぬため、県下で連絡を取りながら行っています。他の企業と対抗していく必要があります。全体で周知をしながら徹底して、皆さんに利用していただきやすい農機事業

にしていきたいと思っております。

Q 生産工程管理が重要視されてきており、JAとしても取り組みを進めていくと思うが、取り組み方針とわれわれ農家が本当にけん引されていける状況にあるのかお聞きしたい。

A 産地間競争で生き残るためには、生産履歴の管理やGAP、美味しまね認証などが必要だと考えています。重複する部分もあるため、システマ的に生産者の負担を軽減できるように、本店や県と連携し協議を重ねています。

今年から農業振興支援事業の一つに、GAPの資格取得にかかる経費への支援メニューを新設しました。また、JAしまね全体でGAPの指導員は18名。今後、登録人数を増やしていくことと取り組んでおり、具体的にご相談いただければ、こちらから提案させていただきます。こちらから進めていければと考えています。

Q 産直事業の落ち込みは、栽培技術や食品表示などが幅広く、取り扱いが難しくなっていることが原因で会員数の目減りにつながっているからだと考えるがどうか。

A 現在、県下統一の生産履歴を



進めていきます。摘果メロンの件もありますが、農家の皆さまに十分な情報を提供できていない面がまだあります。雲南地域の食材は安心だというブランド化を進めていくうえでも、不明な点は聞いていただいで進めていきたいところですのでご協力をお願い申し上げます。

Q 今年から配送経費が極端に上がった。JAの方からも、各社一斉に上げる状況や情報について周知してほしい。

A 運送業者とは人件費あるいは運転手がないという中で、今年度から農産物に係る運賃を上げざるを得ないという事で交渉を進めてきました。運送業者からは値上げの意向を受けましたが、生産者の負担を軽減するためにもできるだけ抑えています。また、本店も各地区本部の状況を踏まえながら全体を見極め、運送の改革なり、運賃交渉を進めている状況です。今後も運送に関わる状況や情報について都度、お知らせします。



ふれあい ニュース

雲南管内の
旬な情報をお届け!

UNNAN
FUREAI
NEWS

UNNAN
FUREAI
NEWS

01 後継者不足に一手 鍋山アグリサポーターズ

雲南市三刀屋町鍋山地区の農業関係者で構成する鍋山担い手ネットワーク協議会は6月30日、今春設立した「担い手部会」の名称授与式とさらなる良質米生産に向けた研修会を開きました。

名称授与式には雲南市の速水雄一市長や県東部農林振興センター雲南事務所の津森保孝部長、雲南地区本部の加藤博樹本部長が出席。市長は同部会の名称として「鍋山アグリサポーターズ」を授与しました。受け取った鍋山地区乙多田の柳原昌広代表(53)は「地区ごとに協力して耕作放棄地の拡大を防ぎ、良質米産地としてのアピールも積極的に進めていきたい」と意欲を見せます。



▲鍋山アグリサポーターズの柳原代表(左)と名称を授与した速水市長

同協議会は、集落などの枠を越えた機械や農作業の共同化、肥料や農薬の大口取引による生産費低減を目的として一昨年10月に発足。4月に新しく「担い手部会」を設置し、オペレーター研修や栽培管理研修を充実させ、担い手の育成を図っています。

雲南地区本部が開校するあぐりキッズスクールは6月16日、飯南町長谷の畜産総合センターで作業体験などを行い、黒毛和牛について学びました。

キッズ生や保護者ら30人が参加し、子牛から成牛まで多くの牛が管理されている様子を見学し、ミルクやりや餌やりを体験しました。キッズ生は「大きくなってちょっと怖い」と話

UNNAN
FUREAI
NEWS

03 命の尊さ感じる あぐりキッズスクール

しながら、自分の身長とほぼ同じ体高の牛たちにエサをあげて観察。「オスとメスの見分け方は?」「重さはどれくらい?」などと積極的に質問しました。

講師を務めた畜産課の那須悦夫補佐は「肉を食べるといふことは、命をいただくこと。そのことを忘れないで欲しい」と命の大切さを伝えました。



▲エサやり体験に挑戦するキッズ生

雲南地区本部は年々増加する管内の鳥獣被害を防ごうと、県東部農林振興センター雲南事務所と協力し、昨年からの「菜園講座」で防護柵設置実習を行っていきます。講師を務める同地区本部米穀園芸課の高橋英次職員は「動物は出るものとして、栽培計画の中に対策を盛り込む必要がある」と話します。

6月15日には、雲南事務所の梶誠吾鳥獣専門調査・指導員

UNNAN
FUREAI
NEWS

02 県指導員と協力 栽培講習会で鳥獣害対策

が講師となり、適切に設置できていない防護柵を中型動物が突破する映像や同地区本部の畑でキツネがキュウリを食べている珍しい映像を紹介しました。

実習では高さ30センチの防護ネットの上部5センチに電線を張る「楽落くん」の設置を行いました。また、黒テグスによるカラス対策も紹介し、参加者は熱心に聞き入りました。



▲設置した防護ネットと電線について梶さんが解説しました

04 雲南梅生産組合 名称新たに広域化図る

三刀屋町梅生産組合は、高齢化による組合員の減少や新規就農者が見込めない状況を受け、広域化を図るために雲南梅生産組合へと名称を変更しました。

同組合は町内の集落営農組織の加工部門との連携や地元酒造会社への梅酒用販売を強化するなど地産地消を進めています。健康志向などで梅の需

要が高まっていることもあり、出荷量を確保することで流通経路を増やし、地元産の梅をアピールしていく考えです。

年に3回程度研修会を開いており新規就農者へのフォロー体制も整っています。祝原光雄組合長は「全面的に手助けする体制があるので一人でも生産者が増えて欲しい。特に若い人たちへのPRを行い、雲南の梅ブ

ランドとして取り組みを広げたい」と話します。



▲最盛期を迎えた集出荷所には町内で収穫された梅が集まっていた

05 プラム収穫講習会 直売所の品ぞろえ強化

雲南地区本部は6月22日、雲南市三刀屋町の果樹技術指導センターでプラムの収穫について講習会を開きました。管内の生産者ら10人が参加し、収穫の目安や注意点について学びました。講師を務めたココロファームの吉廣丈晴代表は「熟れ具合によつて、えぐみや酸味が和らぎ食味が良くなる。雲南のプラムとして、果実本来の美味しさを伝えていって欲しい」と話しました。

今回の講習会は管内の直売所などから「果実の品ぞろえを強化したい」との要望を受けて発足した「産直・園芸プロジェクト」の一環で、現在は「ハニーハート」と「ハニーローザ」の2品種を40人が栽培しています。

同センターのプラムは、果肉の甘味と皮のほど良い酸味が好評で、併設直売所や産直市、阪急オアシス内の直売所などで人気を博しています。



▲軸抜けしにくい収穫方法を紹介する吉廣代表

06 良質米へ向け米品評会 功労者表彰行う

島根県農業振興協会は6月8日、松江市殿町のサンラポーむらくもで第56回島根米品評会を開きました。各部での表彰の他に、今年は産米改良の最前線を長年けん引した2人に、功労者表彰が贈られました。

表彰を受けた渡部光義さんは「能力がないながら、懸命に世話をしてきた。後は息子に、組合に夢を託したい」と話し、郷原代乙さんは「ようやく肩の荷が下りた。今後は日本一うまい仁多米作りに尽力したい」と話しました。



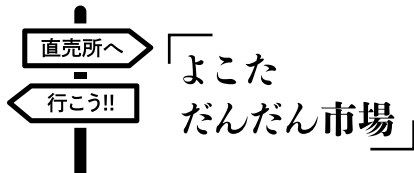
▲功労者表彰が贈られた渡部さん(左)と郷原さん

●平成29年度産米改良功労者・団体表彰 (敬称略)

顕彰名	住所	氏名
農業振興協会長賞	奥出雲町	渡部 光義
	奥出雲町	郷原 代乙

●島根米品評会 雲南地区本部管内受賞者 (敬称略)

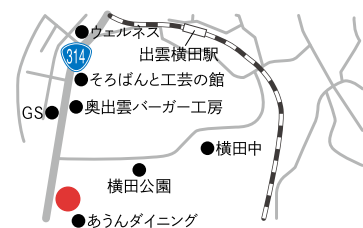
顕彰名	氏名	品種
◎島根米総合		
全国米麦改良協会長賞	宮崎 房夫	ヒメノモチ
全農会長賞	松浦 真	コシヒカリ
◎水稲うるち玄米 品種別の部		
島根県知事賞	藤原 潤子	コシヒカリ
島根県農業振興協会長賞	門脇 玉枝	きぬむすめ
島根県農業協同組合長賞	山本 弘和	コシヒカリ
◎醸造用玄米の部		
日本酒造組合中央会長賞	小川 君穂	五百万石
島根県知事賞	吉村 賢三	五百万石
島根県農業振興協会長賞	大原新田たたら農園	五百万石
島根県農業協同組合長賞	下赤名ファーム・エンジニアリング㈱	五百万石
◎水稲もち玄米の部		
全米販理事長賞	家本 賢	ヒメノモチ
島根県知事賞	糸原 健二	ココノエモチ
島根県農業振興協会長賞	農事組合法人あなみ	ヒメノモチ
島根県農業協同組合長賞	福田 優作	ココノエモチ



1. 大きな三角屋根が目印です
2. 吹き抜けが開放感を演出しており、広々とした店内でゆったりと買い物ができます
3. 野菜棚は高さが低く、てんこ盛りになっても手が届きやすいです
4. 夏野菜の季節が始まり、彩り豊かな店内となっています
5. 果物も少しずつ出荷されています

地元野菜が豊富 イベントも人気の直売所

よこただんだん市場は横田地区の地産地消を推進する農産物直売所です。店内には地元の山菜や高原野菜などが並び、週末には奥出雲和牛の直売も行われています。地元の方はもとより、広島県や鳥取県から訪れる観光客が立ち寄るなど客層は様々。気候や風土を生かした農産物や加工品などを販売する人気直売所です。



よこただんだん市場

TEL 0854-52-9234
 ① 仁多郡奥出雲町下横田1652-1
 ② 10:00~18:00 / 土・日・祝 9:00~17:00
 ③ 年中無休
 (但し、1月~4月下旬までは④火曜日)

Yokota Dandan Ichiba



自然豊かな畑で育てています。

各直売所に出品されている生産者の方にスポットを当ててご紹介します!

農アグリ

農ライフ

No-Agri No-Life (第16回)

仁多郡奥出雲町

嵐谷 真樹さん(32)

あらしだに まさき



1. 出雲地域の若手農家で組織する出雲野菜(株)や奥出雲地方の若手農家が集まる若者会でも活動しています。嵐谷さんは「農家同士が集まることで互いに刺激になる」と話します
2. ジャガイモが結実していました。低農薬・低肥料で育てることで野性味あふれる野菜ができるそうです
3. 小さくてかわいいジャガイモの花が咲いていました。摘み取る方もおられるそうですが、取量にはそこまで影響がないそうでそのままにしておられました

祖父母に憧れ就農 県外ファン着実に

嵐谷さんは今年で5年目を迎える専業農家。子供の頃、畑作業に勤しむ祖父母の姿に憧れ、農業への道を志しました。

短大卒業後、県外農家の視察や農業法人で農業に携わる中で知見を広げており、嵐谷さんは「栽培品目や生産方法、販売に至るまで自分の選択肢を増やしたかった。今でもためになつている」と当時を振り返ります。

現在はいくつかに分かれた畑で20品種以上の野菜を育てており、松江の飲食店や直売所へ出荷しています。特にトマトは甘さだけでなく酸味がある昔ながらのトマトとして評判で、県外のファンも増えてきているそうです。

嵐谷さんは「野菜本来の生命力を活かして作っているため、味や香りも強い。害虫やそれを食べる天敵などが共生できる畑を目指していきたい」と話してくれました。

うんなん 女子力



掲示板



JAしまね雲南女性部の活動を中心に、 「女子力」あふれる楽しい話題をお届けします。

JA女性部は、昭和28年に、農村女性特有の課題を解決するために設立されたものです。
JA女性部の活動に賛同される方は、どなたでも(農業を営んでいなくても)加入できます!!
あなたも地域の仲間と一緒に活動してみませんか。



女性部 掲示板

JA女性^{かりん}大学院雲南校「華凜」

修学旅行で京都を訪れる

と き/6月6日(水)・7日(木) ところ/京都府

女性大学院では修学旅行で京都を訪れ、地元の方との交流を図りながら文化や風土に触れました。



丁寧に淹れた宇治茶に感嘆の声が!!

JA京都やましろ茶業部の職員からは、うまみを引き出す美味しい宇治茶の淹れ方を学び、JA京都女性協の方のサポートを受けながら実践。宇治茶を堪能しつつ、JA京都の皆さんと交流を深めました。他にも、ボランティアガイドの方による京都巡りや天龍寺での灯り体験、嵐山での舞妓体験、本格精進料理



神宮の方に石清水八幡宮のお話をききました

をいただくなど、さまざまな体験をしました。参加した華凜メンバーは「メンバー同士の交流はもちろん、JA京都の方とも知り合うことができとても中身の濃い一泊二日となった」と話しました。

大東支部

5つのグループで和気あいあいと活動

と き/6月19日(火) ところ/大東支店前

JAしまね雲南女性部大東支部は、高橋美佐子支部長を中心に67名の部員で活動をしています。銭太鼓・料理・手芸などの5つ



支店前で記念撮影しました

のグループがあり、楽しみながら活動しています。6月19日には役員と家の光グループが協力し、大東支店前に設置するみどりのカーテンと花のプランター作りをしました。見た目も涼やかなみどりのカーテンや可愛い花たちがお出迎えますので、ぜひご来店ください。

他にも色々な活動を計画しており、一緒に活動していただける方を募集しています。女性部活動に興味のある方は、お気軽に大東支店へご連絡ください。

JA女子大掲示板 6月の女子大日誌

【心の殻を脱ぎ捨てよう】 身体をほぐしてLet'sボイトレ!

と き/6月5日(火) ところ/斐伊交流センター

◎講師/ミュージシャン 白築純氏

プロミュージシャンであり、同大学のコーディネーターも務める白築純さんのボイトレニングを受講しました。正しい発声のコツのほか、うまく歌おうと思うのではなく、人に歌を届けたいという思いが大事だと学びました。うれしい気持ちやさみしい気持ちを「手のひらを太陽に」を歌いながら表現する歌い方に悪戦苦闘。身体をほぐしながら声を出すことができ、充実した2時間となりました。

JA女子大学雲南校とは? 多分野にわたる講座を受講することで、やりたいことを見つけ、新しい仲間を作っていく場所です。

● アンケートより

今日をすごく楽しみに来ました。本格的なボイトレニングをこんなに楽しく学べたこと、とても幸せです。

(学籍番号 U8-018:石田礼子)



初めは恥ずかしかったけど、だんだん気持ちよくなりました!

グリーンセンターだよ!

来年作に向け、田んぼの浮わら・ガス湧き対策するなら刈取り後が大事です

アグリ革命・アグリ革命アクアなら 稲わら腐熟促進で驚きの効果

革命1 ガス湧き・浮わらの原因となる稲わらの腐熟促進を!!

アグリ革命は酵素が稲わらに対し直に作用するため効果が表れやすい♪

革命2 稲わらが含む養分を土壤に還元!!

稲わらには、けい酸・加里・地力窒素など水稲栽培に欠かせない養分が豊富に含まれています。稲わらを土壤に還して地力UP!!

革命3 ラウンドアップ・プリグロックスとの混用が可能です

ラウンドアップやプリグロックスによる刈後除草時にアグリ革命を混用すればダブルの効果

アグリ革命の散布のポイント



水分あり 水分なし

①雨降後や、朝露など水分がある時に散布してください。

●ポイント:稲刈り後、できるだけ早いうちに散布します。

動力散布機で撒けます。

②10aに対して本製品を1袋(2kg)散布します。

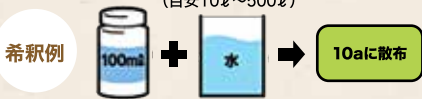
●ポイント:なるべく均一にワラにかかるように散布します。



③散布後に浅くすき込みを行うと、より一層効果が上がります。

●ポイント:すき込みができない地域は、秋に散布するだけでも効果があります。

アグリ革命アクアの散布のポイント



(目安10ℓ~500ℓ)

希釈例



10aに散布



[2kg] 2,789円 (税込)



[500ml] 7,665円 (税込)



[100ml] 1,892円 (税込)

お求めはお近くのグリーンセンターまで!

旅行センターだよ!

◎新・しあわせ講座開催!

リニューアルした「なんばランド花月」と京都鉄道博物館・通天閣を訪れる

◎旅行代金

大人お1人様 2名1室利用(洋室)

・一般価格/42,800円

・年金振込者予約者会員/39,800円

(当地区本部で年金受け取りをされている方、もしくは予約されている方は、会員価格でご参加いただけます)

◎旅行実施日

・仁多・横田・大東・加茂支店

11月21日(水)~22日(木)

・雲南さくら・雲南吉田・掛合・頓原・赤来支店

11月26日(月)~27日(火)

●詳しくはお近くのJA窓口へお問い合わせください。

雲南すずらん福祉センターだよ!

◆ヘルパー定例会◆

◎と き / 8月22日(水) 9時~13時

◎と ころ / 雲南すずらん福祉センター

2階会議室

◎内 容 / 緊急時の対応についての勉強会

「利用者の急変に慌てないために」

●ご相談・お問い合わせは:雲南すずらん福祉センター ☎08544429120

写真紹介

4月末に撮影されたコウノトリとトラクターのコラボ写真です。悠然と歩く姿が素敵ですね。コウノトリの動向を確認しながら、細心の注意を払い作業されたそうです。6月24日(日)に4羽目の幼鳥の巣立ちが確認されており、親鳥には労いの言葉をかけたくださいね。



◎写真提供 / 田中政明さん 佐世地区大ヶ谷の水田にて撮影

- 人事異動(7月1日付) 30年度4月新規採用者
- ▼仁多支店(企画総務部付:JAしまねユースカレッジ参加、以下同じ)内田達也 ▼大東支店/田部里奈 ▼加茂支店/藤原一樹
- 中途採用(7月1日付) ▼本店共済事務C自動車共済課/佐藤透子 ▼営農部飯南営農経済C/渡邊忠 ▼経済部農業機械課/松林遼真 ▼雲南吉田支店/藤原優華 ▼雲南すずらん福祉C福祉事業1課/安達愛子 ▼雲南すずらん福祉C福祉事業2課/上原真澄
- 依願退職(6月30日付) ▼白根もも華(雲南さくら支店) ▼岩間麻央(雲南すずらん福祉C福祉事業2課)

※()内は旧部署、Cはセンターの略

地区版



日本年金機構からの お便り、きちんと目を 通していますか？

日本年金機構からは、年金を受給するために必要なさまざまな手続き書類が送られてきます。

無年金・低年金になりそうな人を救済する案内が来ることも。開封し、かならず目を通しましょう。



たとえばこんな書類が 来ていたら注意！

「国民年金保険料のお知らせ」のはがき
内容が「国民年金未納保険料納付勧奨通知書(催告状)」なら、放置すると、将来の年金額が少なくなる、年金の受給資格が得られなくなるなどの可能性が。忘れていた国民年金保険料の納付をする、納付が難しい場合は免除の手続きをするなどしましょう。

年金についてのご相談はJAで！ 年金相談会のご案内

無料

- 頓原支店
8月2日(木) 15:00～19:00
- 加茂支店
8月23日(木) 10:00～15:00
- 雲南さくら支店
8月25日(土) 9:00～15:00

◎お一人おひとりの相談会です。できるだけご予約下さい。
◎お問い合わせは、各支店窓口までお気軽にどうぞ。

☑水田転作 ☑遊休農地活用 ☑空きハウス

いま、
おすすめ！

野菜の「種子生産」を 始めてみませんか？

こんな方に最適！

- 農業に興味がある方
- 水田転作に取り組みたい方
- 農業法人や担い手農家の方 など

どんな仕事？

- 野菜(白菜、蕪、大根など)の
種子を生産(採種)する仕事です。



ここがおすすめ！

- 定期的な巡回指導や栽培指針があり、指導体制が確立しているため、野菜作りの基本も学べます。
- 種苗会社との契約栽培なので、価格は安定しています。
- 軽量作物なので、女性や高齢者の方でも栽培が可能です。
- 集出荷経費が掛かりません。
- 出荷は年1回のみです。

栽培の流れ・収益 他

- 説明会にてご説明いたします。



説 | 明 | 会 | 日 | 程

お申し込み不要!お気軽にお越しください!

- 日 時 = 平成30年7月27日(金) 9:30～11:30
- 場 所 = JAしまね雲南地区本部 第1会議室
入口からつきあたり左手

お問い合わせ先

JAしまね雲南地区本部 営農部米穀園芸課(担当/高橋)

事務所連絡先 / **0854-42-9115**
業務用携帯電話 / **080-8249-6668**

8月の外勤日 **15水 16木 17金**

※支店によっては変更する場合があります。
詳しくはお近くのJA窓口までお問合せ下さい。

ローン金利

商品	金利	
住宅ローン(保証料込・当初15年固定)	0.85%	
7月10日現在		
※JAではお子様の人数に応じて金利引下げを実施しております。 その他、条件を満たした方はギフトカードが貰えるキャンペーンがあります。		
商品	初回の金利	
マイカーローン	固定型	1.45%
	変動型	1.40%
カードローン	変動型	7.10%
住宅ローン利用者向けカードローン	変動型	4.50%
7月1日現在		

※上記の金利は、他の引下げ項目も含め最大引下時の金利です。
その他、様々な内容が有ります。詳しくはお近くのJA窓口まで。

●子牛市場成績表

中央「反落」の相場展開

地区名	種別	取引頭数	最高価格	最低価格	平均金額	平均体重	キロ単価
雲南地区本部	雌	54	903,960	403,920	615,100	276	2,225
	去	59	968,760	551,880	788,638	301	2,618
中央市場	雌	128	1,298,160	28,080	611,120	276	2,213
	雄	0	0	0	0	0	0
	去	151	1,145,880	551,880	794,830	304	2,612

平成30年6月の全国主要子牛市場平均価格は、雌713,648円(前月比97%)、去勢826,187円(前月比97%)、計777,818円(前月比97%)で、弱含みの取引となっています。

畜産市況 **6**月





タマネギ

のまきどきと 上手な苗作り

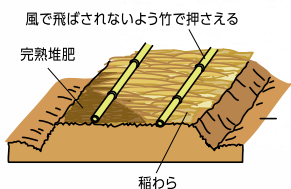
板木技術士事務所 ● 板木利隆

タマネギはあまり早くまき過ぎると冬に入る前に大きく育ち過ぎ、低温に感応してとう立ちする 경우가多く、失敗しがちです。適正なまきどきは早生種9月上旬、中生種9月15日前後、晩生種9月20日ごろです。

タマネギは土壌の酸性に弱い(最適pHは6.3~7.8)ので、苗床の予定地は早めに石灰を施し、20cmぐらいの深さによく耕しておきます。

苗床は幅80~100cm、高さ15~20cm(低温地では幅を狭く、高さを高くする)とし、あらかじめ化成肥料を全面にまき、深さ15cmぐらいに耕し込んでおきます。

種まきは床面をきれいにしたら、3.3平方メートル当たり40ml内外の種を均一にばらまきます。その上に草木灰を種が見えなくなる程度に掛け、さらにそれが見えなくなる程度にふるいで土を均一に掛け、板切れなどで軽く押し付け、鎮圧します。その後細かく砕いた完熟堆肥、またはもみ殻で土が見えなくなるぐらいに覆います。そしてたっぷり灌水(かんすい)し、稲わらで全面を覆い、強い降雨や、強日光による乾燥を防ぎます。



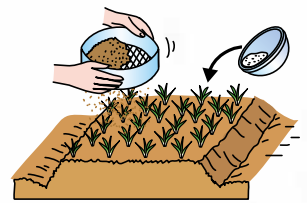
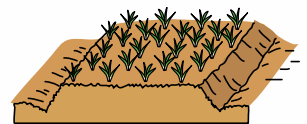
ろった発芽を促します。

草丈が3~4cmに伸びた頃、密に生えたら間引き、1.5cmぐらいの間隔にします。間引きの後、少量の化成肥料を追肥し、ふるいで土を掛けて土入れします。

苗が7~8cmの丈になった頃、前と同様に第2回の追肥をします。

この頃は秋雨が降り続くことが多く、葉の一部がぼんやりと黄化するべと病が発生しやすいです。この苗床で発生を許すと春先になって本畑で多発しやすいので、早いうちに適応薬剤を、展着剤を加えて散布し、完全に防除しておきます。

11月上~中旬になり苗の大きさが草丈20cm内外、太さが5~6mmぐらいになったら畑に定植します。苗取りは、床が乾いていたら十分灌水し、根をできるだけ切らないよう、大きい株からできるだけそろえて引き抜きます。こうすれば本畑での早い活着は請け合いです。



ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先
最寄りのJA各支店・支所
にお問い合わせください

取扱業者 (公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)
生活課題を科学する
株式会社 **コダマサイエンス**
■本社 / 島根県松江市西塚島2-8-23 ☎0852-43-0852
■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852
■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

JA共済から **新登場!!**
新しい保障に関するお知らせです!!

もしものアクシデントで
働けなくなったらどうしよう…。

働けなくなったときの生活に不安があるアナタ!!
JA共済から働けなくなった方のための保障が新たに登場しました!!



JA共済の資料請求はこちら!

あなたにぴったりの共済をみつけよう!!
お気軽にご利用ください。

こちらからアクセス▼

はじめて共済 検索
<http://shiryo.ja-kyosai.or.jp>



組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先：住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地 1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

鮎ごはん



焼き鮎、みょうが、青しそ、ごまの組み合わせでさわやかな炊込みご飯です。鮎の香りが口の中に広がります。

●材料 (4人分)

鮎……………2尾	みょうが……………2個
塩……………小さじ1/2	甘酢
干しいたけ……………3枚	酢……………大さじ2
生姜……………1かけ	砂糖……………小さじ1/2
米……………2カップ	塩……………小さじ1/5
水……………	白ごま……………小さじ1
しいたけの汁……………60cc	青しそ……………5枚
酒……………大さじ2	
しょうゆ……………大さじ1と1/2	

●作り方

- ①みょうがは縦半分に切り、さっと湯に通し甘酢につける。
- ②しいたけは水で戻す。
- ③鮎は肛門から糞を出し水洗いして水を拭き塩をふり焼く。
- ④米は洗い、しいたけの戻し汁を入れ30分置く。
- ⑤しいたけ、生姜は千切りにする。
- ⑥炊飯器に米、酒、しょうゆ、しいたけの戻し汁を入れ炊飯器の水メモリ2の所まで水を入れ、しいたけ、生姜、鮎を入れ炊く。
- ⑦炊けたら鮎ごとざっくりと混ぜ、茶碗に盛り青しそとみょうがの千切りを乗せごまをふる。

(苦いのが苦手な人は混ぜる時、鮎の頭は捨ててください。)

あっさりゴーヤチャンプル



肉、卵を入れない夏に合うあっさり味です。市販のゴーヤチャンプルの素がなくても、かつお節としょうゆのみで簡単味付けです。かつお節を沢山入れるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ゴーヤ……………1本	ごま油……………大さじ1
ツナ缶……………1/2缶	しょうゆ……………小さじ1弱
木綿豆腐……………1/3丁	かつお節……………20g
にら……………1/2束	(手づかみ2はい)
もやし……………1/2袋	

●作り方

- ①ゴーヤを縦半分に切って種とワタをとり、1cmに切り塩もみし、水洗いする。
- ②にらは5cmに切る。
- ③豆腐はザルの上ののせ20分おく。
- ④フライパンにごま油を入れゴーヤ、にら、もやし、ツナ缶の順に炒める。次に豆腐を加えずしながら炒める。
- ⑤しょうゆを入れる。
- ⑥かつお節を入れ混ぜすぐ火を消す。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、大社町稲佐の浜にある弁天島です。出雲大社の西方1kmにあり、「日本の渚・100選」にも選ばれているこの海岸は、旧暦10月に行われる神迎神事(かみむかえしんじ)の舞台でもあります。弁天島には、豊玉毘古命(とよたまひこのみこと)が祀られています。稲佐の浜は西向きのため、夕暮れ時には美しい夕日を眺めることができます。

編集後記

稲佐の浜は、子どもの頃よく海水浴に訪れていた思い出の場所です。当時の記憶では弁天島は海に浮かんでいたのですが、砂の堆積などにより、今では島の後ろまで歩いていけるようです。月日の経過とともに風景は刻々と変化しています。今しか見ることができない景色を、できるだけたくさん見ておきたいですね。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

